

築上町に赴任してから、はや2ヶ月。初・九州の夏！を迎えようとしており、すでに気温の高さに圧倒されています。

さて5月末から6月にかけての活動は、水稻の苗広げ、種まき、田植え、小学校の循環授業（農業体験学習）のお手伝い、水難救助隊の会議への参加、スイートコーンのオシベ切りから収穫・出荷まで、トマトのハウス内清掃・収穫、食育講演会「弁当の日がやってきた」の聴講、イチゴの苗の刈り取り、山道整備・樹木伐採のお手伝い、神楽の発表など。どの場に行っても、「すごいなあ」と思えるところが消化しきれないくらいあります。

例えば田植えですが、苗の種を長方形の箱に入れ、発芽するまで育てるんですね。一枚一枚重いの、それを千枚近く作っていらっしやる方もいるなんて、忍耐の心に惹かれます。その後にも苗を広げ、田植えに備える。田植えの時は、前日に苗を準備して畦に置いておくような段取りもすると聞きました。田植え

時は、田植機に乗る方も大変だとは思いますが、苗や肥料を装填する側の方が大変だ！と思いました。だからこそ、普段食べられているお米のありがたみを感じました。

今までその存在をあまり知らなかったスイートコーンも、収穫前にオシベを一本一本切って、朝早くから選別・出荷の準備をされている。苺に関しても、苗を大切に育て、苺をとり、苗を刈る。ハウスの中で黙々と。トマトもドサツとなったトマトを、丁寧に摘み取っていく。

一見、単純な作業に思えるようなことでも「し続ける」この大変さを、身をもって経験しました。また、そういった作業の後に食べさせて頂いた農作物は、涙がでるほどうまい！食べ物に「もったいない！」と思える心は、実際に食べ物を作ってみてわかるのではないのでしょうか。

農業に従事されるということは、とても大変なことであるし、その方達の「生き様」「思い」「こだわり」をもっとお聞きしたいです！そういう意味で、小学生が年間を通して農業を体験する「循環授業」は、良い取り

組みだと感じます。子ども達の純粋で好奇心に満ちた目、そういう目でいられる時期に、作物を作ったり、仕組みを知ったり、実際に食べてみたり、生産者の方とお話ししたり。大きくなっても心のどこかにそういった経験は残ることでしょう。

最近、いろんな方から声を掛けてもらえるようになってきましたが、どうしても予定が重なる場合があります。ですが、お声を少しでもかけてください！みなさんの生き様、こだわり、なんでもいいです！ぜひともお話ししましょう！

さらに暑い季節になっていきますが、体調には気を付けつつも心は熱く、今月もよろしくお願ひします！



投稿のひろば

築城駅に130株のアジサイ

築城駅で、築上町ボランティア連絡協議会のダーナ金剛グループ（会長 福田忠義さん）が育てたアジサイ130株が綺麗に花開きました。電車を待つ間、心癒されるアジサイは、築城駅に彩りを与えていました。



押し花教室のご案内

四季折々の草花や野菜を押し花にして小物や押し花絵を一緒に作品作りをしてみませんか。

場 所 延塚会館

日 時 毎月第2木曜日（月1回）13:00～

申込・問い合わせ 河田090（2502）2289

地域対抗ふれあいパークゴルフ大会結果

団 体：優勝 行橋フレンドチーム
2位 豊前北チーム
3位 椎田きらめきチーム

個人男子

優勝 吉元 三千穂
2位 奥村 則光
3位 溝口 朝之

個人女子

優勝 溝口 直美
2位 安成 元子
3位 城山 美智子

